

その部屋...



振り込め詐欺の犯人に使用されていませんか？

最近、振り込め詐欺の犯行グループが、ホテルなどを転々として犯行を繰り返すケースが増加していることから、いくつかの事例を紹介します。

- 都市部の“高級ホテル”が利用された事例
犯行グループは、関西都市部の某高級ホテルの一室に数日間滞在し、高齢者宅に電話をかけ、キャッシュカードをだまし取る詐欺の犯行拠点としていた。
- 都市部の“民泊”が利用された事例
犯行グループは、首都圏にある民泊の一室に数日間滞在し、高齢者宅に繰り返し電話をかけ、オレオレ詐欺を敢行した。
- “カラオケボックス”が利用された事例
犯行グループは、首都圏にあるカラオケボックスに数日にわたって出入りし、高齢者宅に電話をかけ、オレオレ詐欺を敢行していたが、カラオケボックス店員からの通報で摘発に至った。



着眼点

【高級シティホテルの場合】

- スイートルームや音ののれにくい角部屋に数日滞在し、若い男数名が出入りしている。
- スエットに短パン、ジーンズなどラフな格好をしている。
- 出前や持ち込みの食事が多い。
- 観光をしているわけでもなく、日中何をしているか分からない。

【民泊の場合】

- 音ののれにくい角部屋に数日滞在し、若い男数名が出入りしている。
- 観光をしているわけでもなく、日中何をしているか分からない。

【カラオケボックスの場合】

- 同じ人物が数日にわたって利用している。
- 若い男数名で利用しており、カラオケなのに歌を歌っていない。

ささいなことでも構いません。
気になることがあれば、

110番又は**#9110** (警察相談電話)に情報提供をお願いします！



兵庫県警察